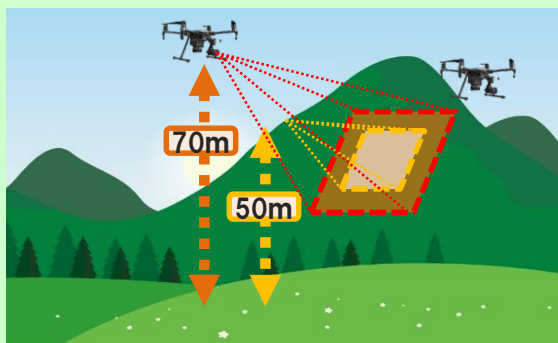


# 広域的な鳥獣被害防止の仕組みづくり(鳥獣)生息状況調査の実施

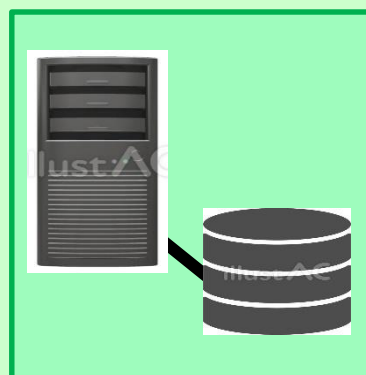
農林業被害や生態系への影響が拡大している中で、野生動物のマネジメントの重要性が高まっている。特に、人による大型獣の個体数把握は大変な労力と資金が必要であり且つ目視によるカウントでは極めて難しい。本件はドローンにより生息状況を把握し、AI解析等により生息状況を可視化するものである。

## ①生息状況の調査



○赤外線カメラ、可視光カメラ搭載のドローンにより、指定された範囲の生息状況調査を複数回実施

## ②AI解析等



○獣種の自動判別等

## ③OUT-PUT (例)



【シカの生息分布図】



【撮影されたシカの画像】

